

複線のカーブレール2本 接合凸部の破損



2022年6月3日、東保育園から入院
プラレールの複線のカーブレール2本



ヒビ割れた凸部は取り去り、少し間口を広げ
引っ張りに備え、ミニドリルで小穴を空ける



今回の治療で使う、新しい診療材料
うち、プライマーは接着剤メーカー製



さじ加減は、この写真をご参照ください
小スプーン2杯分で凸部1か所分



手術器材は、マグカップ、ポリ袋は必須
ドライヤーは「温度ヒューズ 154度」とある



プライマー塗布後、2枚重ねて比較
元の厚みの分 AよりBを 広く取った

複線のカーブレール2本 接合凸部の破損



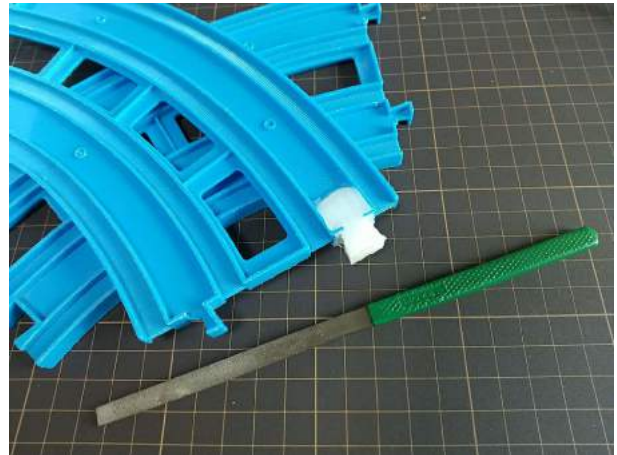
手ひねりプラを、お湯で柔らかくしてから患部をおおうように凸部に被せて整形



コツは、母材もプラも十分に温めることと、ドライヤーで水分を蒸発させてから密着



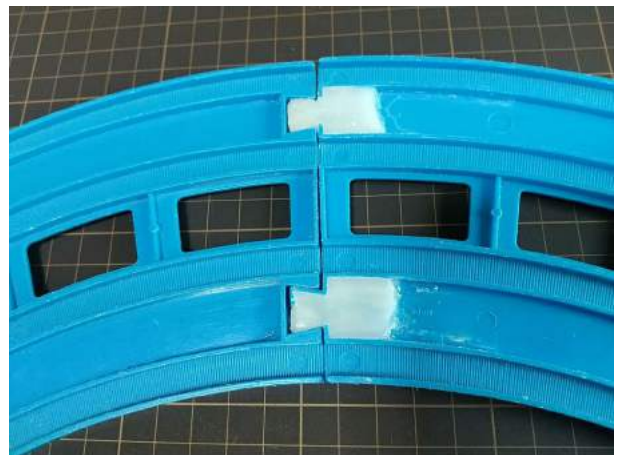
プラがハミ出しても大丈夫、落ち着いてドライヤーで温め直せば、微調整できる



温度が下がり白く硬化したことを確認し型から抜いたあと、ヤスリでバリを取る



小穴での引っ掛かりと、重曹+接着剤でグラつきを防止し、接着強度を補強する



柔軟性は皆無だが、硬化後の固さは十分でヤスリ掛けには、とても苦勞するほどだった